

令和 6 年度 市長記者会見 発言要旨

令和 6 年 7 月 29 日(月)開催分

< 開催時間 > 14:00~14:40

< 会 場 > 庁議室(市役所本館3階)

< 会見案件 > スロベニア共和国クラン市訪問の報告
福井市・熊本市姉妹都市提携 30 周年記念事業
ふくい夏の楽しもう!

< 出席者 > 市長、副市長、総務部長、市長公室長、総合政策課長、商工振興課長、観光振興課副課長、一乗谷朝倉氏遺跡事務所長

< 質疑応答 >

【記者】

スロベニアを実際に訪問された際の印象についてお聞かせください。

【市長】

スロベニア訪問は 2 回目です。今回も前回と同様に非常に安全で美しい街並みであるという印象を受けました。初回はホストタウンとしての本市の街の様子や施設を説明する目的で行きましたが、今回は教育分野や市の取り組みにも踏み込み、異なる点も感じられ、これがお互いに刺激となると感じました。フレンドリーな形で交流し、温かい人々に触れたことで、良い印象を持って帰国しました。

【記者】

姉妹都市提携に関して、教育分野での交流の可能性について教えてください。

【市長】

教育分野では、異なる教育システムを学ぶことができました。音楽や芸術、スポーツにおいても独自の取り組みがあり、小学校から専門的な教育が行われています。これに対して、福井市でも教育交流を深めることが有意義だと感じています。教員同士の交流なども検討しています。

【記者】

教育分野以外での交流の可能性についてはどうお考えですか。

【市長】

行政面では、環境保護やゼロカーボン政策に取り組んでおり、これには学ぶべき点が多いと感じました。また、克蘭市では市独自のマイナンバーカード制度などもあり、これは興味深いです。経済面では、起業家育成のためのインキュベート施設などがあり、これも学ぶ価値があります。先端産業や教育レベルが高い点でも、福井市との交流の可能性が広がると感じています。

【記者】

克蘭市との姉妹都市提携に向けた期待や課題についてお聞かせください。

【市長】

克蘭市からの期待は、姉妹都市提携を進めていくことにあります。福井市としても、まずは教育分野で交流を進め、その後の可能性を探っていく方針です。地理的な距離が課題といえるかどうか分かりませんが、共通点や互いに学べる点も多いと感じています。例えば、ワインフェスティバルや自転車ツーリングなどのイベントでの交流が考えられます。

【記者】

姉妹都市提携に関して具体的なスケジュールはありますか。

【市長】

克蘭市側は早期の提携を希望していますが、福井市としては少なくとも 1 年の交流期間を設け、その後に提携の手続きを進めたいと考えています。2025 年の大阪万博に克蘭市長が来ることになれば、それが一つの目安となる可能性があります。具体的な日程についてはまだ決まっていません。